

バクスマー®を使用される
教職員または保育士など教育・保育現場の方へ

低血糖時の 救急処置のために

バクスマー®点鼻粉末剤使用の手びき



本剤を使用する直前まで包装用フィルムをはがさないでください

目次

低血糖ってなに？どんな症状があらわれるの？	2
低血糖はどんな時に起こりやすいの？	3
バクスミー®ってどんなお薬？	4
バクスミー®はどんな時に使うの？	5
バクスミー®の使い方	6
バクスミー®噴霧後の対応	9
バクスミー®による注意すべき副作用	10
バクスミー®の使用済み容器の取扱い	10
バクスミー®の適切な管理のために	11

バクスミー®点鼻粉末剤サイト

<https://globalregulatorypartners.co.jp/>
では動画にて使い方をご確認いただけます。

参考サイト



低血糖ってなに？どんな症状があらわれるの？

低血糖とは、**血糖値が正常な範囲より低くなること**（一般的には70mg/dL未満¹⁾）をいいます。特に54mg/dL以下の時は、糖尿病の患者さんでは**すぐに対処しないといけない緊急の状態**です。

低血糖の症状^{1, 2)}

低血糖を起こすと以下のような症状^{※1}があらわれるので、ブドウ糖や糖を含むジュースなどをただちにとってください。

α-グルコシダーゼ阻害薬^{※2}を服用している場合は、砂糖からブドウ糖への分解を遅らせる作用があるため、必ずブドウ糖をとってください。

※1:あらわれる症状には個人差があります ※2:アカルボース、ボグリボース（配合剤を含む）、ミグリトール



動悸



生あくび



ふるえ

- 空腹感
- 気分不良
- めまい
- 冷汗
- 眠気

低血糖を起こしてもこれらの症状があらわれないこともあります（無自覚性低血糖といいます）。

低血糖に気づかず、そのまま進行すると、以下のような重い症状が急にあらわれる場合があります。この状態になると、患者さんは自分で対処できないため、ご家族や周りの人の手助けが必要となります（重症低血糖といいます）。



意識が遠くなる



けいれん



こんすい
昏睡[※]

※意識を失い、刺激に対して
反応しない状態



いつもと違う行動

1) 日本糖尿病学会 編・著. 糖尿病診療ガイドライン2024, 南江堂, 2024

2) 日本糖尿病学会 編・著. 糖尿病治療ガイド2024, 文光堂, 2024

低血糖はどんな時に起こりやすいの？

低血糖は起こさないにこしたことはありません。

しかし、さまざまなことがきっかけとなり、低血糖を起こしてしまう可能性があります。たとえば、以下のようなきっかけで起こりやすくなるため、特に注意が必要です¹⁾。

低血糖が起こるきっかけ¹⁾



**お薬の種類や量の誤り
(インスリン含む)**



**食事の量
(または炭水化物の量)
が少ない、
食事の時間の遅れ**

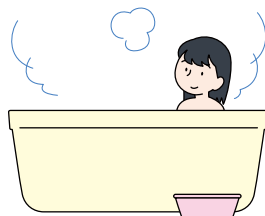


**激しい運動や
長時間の運動**



シックデイ

(感染症などによる発熱や下痢、
おう吐または食欲不振のため
食事がとれない状態)



入浴

ワンポイント・アドバイス

重症の低血糖を起こすと命に関わるようなことになったり、重い後遺症が残ったりする可能性があります。

予防や早めの対処ができるように、低血糖が起こりやすくなる状況や症状について、把握しましょう。

バクスマー®ってどんなお薬？

バクスマー®点鼻粉末剤(以下、バクスマー®)は低血糖を起こした患者さんの救急処置に用いるお薬で、グルカゴン(血糖値を一時的に上げるホルモン)を3mg含みます。

このお薬は鼻の粘膜から吸収されるため、患者さんに意識がなく、薬剤を吸い込むことができない時でも使用できます。

1回使い切りのお薬で、**室温(30℃以下)**で**保存**することができます。



黄色の容器の長さ：約79mm、横(直径)：約31mm
本剤を使用する直前まで包装用フィルムをはがさないでください

携帯可能

3ステップで
投与可能

1回
使い切り

室温保存
冷蔵庫で保存
する必要は
ありません

バクスマー®はどんな時に使うの？

低血糖の対処法は、お子さんの状態によって異なります。

バクスマー®は、さまざまな低血糖症状のうち、**周りの人の助けが必要な低血糖状態になった時に使用してください。**

低血糖が起こった

※あらわれる低血糖症状には個人差があります。
代表的な症状については本冊子のP2をご参照ください。

- ☐ 意識がはっきりしていない
- ☐ 口から糖分をとれない
- ☐ お子さん自身で対応できない

1つでもあてはまる

**すぐに救急搬送を
手配してください**

看護者(教職員・保育士・家族など)が
お子さんに**バクスマー®**を投与する



全てあてはまらない

お子さん自身が
口から糖分をとる



ワンポイント・アドバイス

バクスマー®を看護者(教職員・保育士・家族など)がお子さんに使用することで、周りの人の助けが必要な低血糖にも対処することが可能になります。

また、重症な低血糖においては、当該児童生徒等が意識を失っている場合も想定されることから、傷病者発生時の対応に準じて、教職員等が連携して、迅速・的確な応急手当(一次救命処置)、緊急連絡・救急要請などを行うことが重要です。

バクスミー®の使い方

必ず守って
ください

このお薬は使用する直前まで
**包装用フィルムをはがしたり、
黄色の容器を開けたりしないでください。**

①点鼻容器の取り出し方



赤色の部分を
引っ張り、包装用
フィルムをはがして
ください。



黄色の容器のふたを開け、
点鼻容器を取り出します。

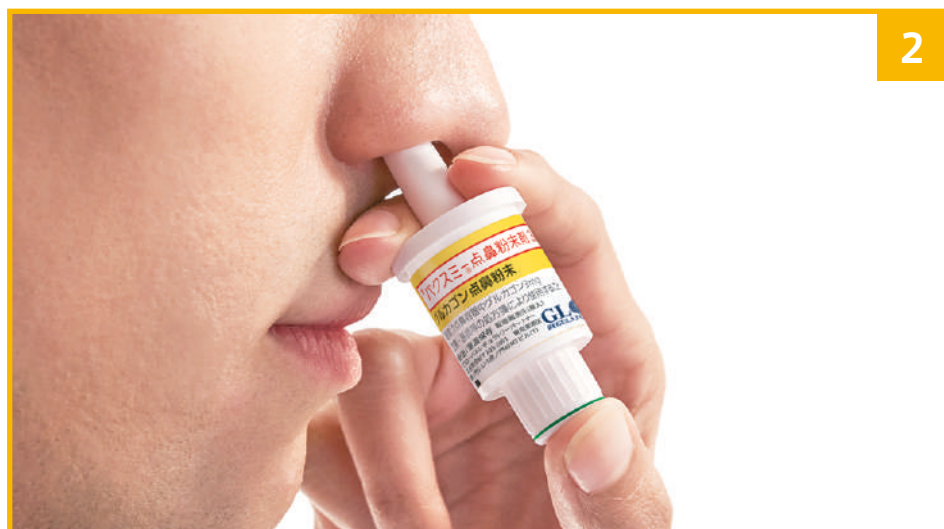
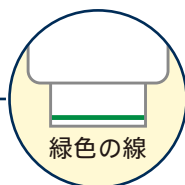
注) 噴霧する準備
ができるまで注入
ボタンを押さない
でください。

バクスマー®の使い方

② 噴霧方法



図のように親指と人差し指、中指で点鼻容器を持ってください。**1回使い切りのお薬のため、試し打ちはしないでください。**

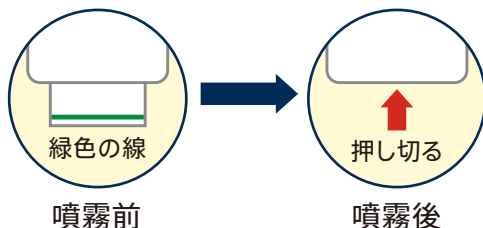


人差し指又は中指が鼻に当たるまで、
点鼻容器の先端を片方の鼻の穴にゆっくり差し込んでください。

バクスミー®の使い方

③ 注入ボタン操作時のポイント

注入ボタンを押す際に抵抗を感じることがありますが、最後まで**一気に**押し込んでください。



3

注入ボタンを最後まで押し切ってください。

緑色の線が見えなくなるまで押し込むと、噴霧が完了します。

④ 噴霧完了の確認

緑色の線が見えている状態では噴霧できていません。緑色の線が見えている場合には、再度②からやり直し、噴霧後に緑色の線が見えなくなったことを確認してください。

○ 正しく噴霧できている



× 正しく噴霧できていない



バクスマー®噴霧後の対応

噴霧後の対応

救急搬送の手配と
バクスマーの噴霧完了



医療機関を
受診してください



救急搬送を待っている間の対応

意識が戻らない場合

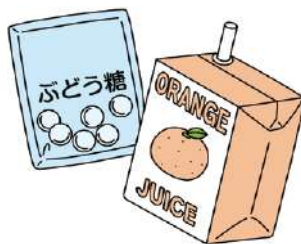
お子さんの体と顔を横に向けて
ください



医療機関を受診するまでの間は
お子さんの状態を観察して
ください

意識が戻った場合

上半身を起こして糖分をとらせ
てください



注) お子さんがうまく飲み込めない状態で、無理に糖分をとらせようとする、喉に詰まらせて窒息するおそれがありますので注意してください。

バクスマー®を使用しても症状の改善が認められない場合

- バクスマー®を追加投与しても効果は期待できません。
- バクスマー®の追加投与は行わず、医療機関で処置を受けてください。

バクスマー®による注意すべき副作用と使用済み容器の取扱い

副作用について

バクスマー®を使用すると、以下のような副作用があらわれることがあります。



頭痛



吐き気・嘔吐



鼻の痛み



アレルギー反応※

**このような症状があらわれた場合は必ず主治医にお知らせください。
また、上記以外でも気になる症状があらわれた場合には、
医師または薬剤師にご相談ください。**

※発疹、息が苦しくなる、血圧が下がる（めまい、体がだるい、手足の冷え、吐き気をもよおす、頭痛）など

使用済み容器の取扱いについて

使用後のバクスマー®は受診される医療機関の医療従事者または救急搬送を行う救急隊にお渡しください。

バクスマー®の適切な管理のために

必ず守って
ください

このお薬は使用する直前まで
包装用フィルムをはがしたり、
黄色の容器を開けたりしないでください。



←**×** はがさない
←**×** 開けない



バクスマー®を使用する前にご注意ください

- 使用する前に黄色の容器を開けると、薬剤が湿気にさらされて、正しく噴霧できなくなる可能性があります。
- 1回使い切りのお薬のため、繰り返し使用することはできません。
- 鼻の穴の中だけで使用してください。

バクスマー®の適切な管理のために

使用期限のご確認

処方されたら必ず**使用期限を確認してください**。
また、使用期限が切れる前に医師に相談してください。



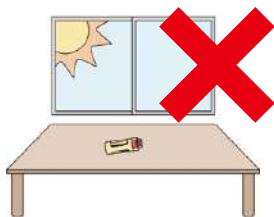
使用期限



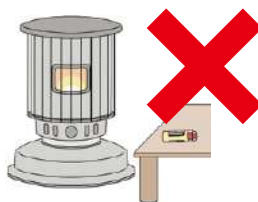
※本剤は、海外で製造された後に日本市場に供給されるため、お手元に届くタイミングにより使用期限が異なります。

保存方法

30℃以下の室温で保存してください。
また、子供の手の届かないところで保管してください。
注) 以下のような場所で保管しないようにご注意ください。



直射日光の当たるところ



熱源の近く



自動車の中



子供の手の届くところ

バクスマー®の管理

もしもの時にすぐ使えるように
バクスマー®の保管場所や使用期限について、
教職員・保育士間で共有しましょう。

お子さんのお名前:

バクスマー®の保管場所:

使用期限 年 月 より前に医師に相談をする

主治医の把握

もしもの時に連絡ができるよう、
お子さんの通われている医療機関を記載しましょう。

主 治 医 名:

医 療 機 関 名:

医療機関連絡先:

バクスマー®点鼻粉末剤サイト

参考サイト

<https://globalregulatorypartners.co.jp/>

では動画にて使い方をご確認いただけます。



グローバルレギュラトリーパートナーズ合同会社

医薬情報問合せ窓口

0120-126-003 *1

03-4530-9843 *2

受付時間（どちらの電話番号ともに）

月曜日～金曜日 9:00 ～ 18:00 *3

*1 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。

*2 IP 電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。
その際にはこちらの電話番号にお掛けください。

尚、通話料はおお客様負担となります。

*3 祝祭日および当社休日を除きます。